

おおつ市民環境塾2018 講座1
「自然観察と野草料理体験」

日時：平成30年4月21日(土)
場所：日吉中学校、周辺の野原



野原を散策し、身近で食べられる野草を学習。その後、野草の和え物やおひたしなどを試食しました。

「菜種油をつくろう!」

日時：平成30年5月20日(日)
場所：雄琴菜の花畑



菜の花を刈取り、踏んで菜種を採取、菜種から油を搾りだしました。その後、菜種油で揚げた美味しいポテトを試食しました。

おおつ市民環境塾2018 講座2
「瀬田唐橋から近江国庁へ 昔の近江を歩く」

日時：平成30年5月26日(土)
場所：唐橋、建部大社、近江国庁跡



ボランティアガイドさんと唐橋から建部大社、近江国庁跡へと歩き、地域の良さを体感しました。

「田んぼの生きもの観察会」

日時：平成30年6月2日(土)
場所：ウォータステーション琵琶、黒津の田んぼ



田んぼには生きものがいっぱい!カブトエビ、ホウネンエビ、貝エビ、ミジンコなどたくさん捕まえました。ミジンコの生き残り戦略について学びました。

「琵琶湖の漁業体験」

日時：平成30年6月9日
場所：明日都浜大津、大津港



琵琶湖の魚についてクイズを交えた受講者参加型のお話の後、大津港で釣りをしました。

「オタマジャクシと遊ぼう」

日時：平成30年6月10日
場所：北大路どろんこつーび



オタマジャクシ、ドジョウ、ヤゴ、ゲンゴロウ、サワガニ、メダカなどたくさんの生きものを観察しました。

おおつ市民環境塾2018
「気候変動と琵琶湖の現状」

日時：平成30年6月16日
場所：明日都浜大津大会議室



彦根气象台
浜野岩彦氏

琵琶湖の漁師
松沢松治氏



大津市地球温暖化防止活動推進センター(特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム)
〒520-0047 大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 4F Tel: 077-526-7545 Fax: 077-526-7581
E-mail: info@otsu.ondanka.net HP: http://otsu.ondanka.net/ 編集責任: 森口 行雄

センター通信

No.9

2018年7月10日発行



6/10、オタマジャクシと遊ぼう

新設の「ごみ焼却施設」(新環境美化センター・新北部クリーンセンター)について、聞く

市民の毎日の生活から排出される「ごみ」。地域の環境に大きな影響を及ぼしているごみ処理。ごみの減量は大切な取り組みで、まずは減量、そして分別。

大津市では、3月に新しい焼却施設の起工式が行われ、ごみ処理の新時代を迎える予定です。大津市環境部施設整備課でお話を聞きました。

★なぜ、新しい焼却施設をつくるのですか。

施設の老朽化が更新の理由です。環境美化センターは1988年、北部クリーンセンターは翌1989年、大津クリーンセンターは1983年に竣工しましたので、いずれも30年間にわたり稼働しています。老朽化に伴う保守部品も調達が困難になっており、処理の効率性や経済性、収集効率など総合的に判断し、2施設に統合することとしました。

新環境美化センターは2020年度末、新北部クリーンセンターは2022年度当初の工事完了予定です。

新環境美化センター



新北部クリーンセンター



★大津市のごみの排出量はどのようになっていますか。

人口減少に伴う総量の減少や、市民のご協力を得て収集区分(雑がみ・びん等)の変更を行い総量削減に努めた結果、2015・2016年度は一定の効果がありましたが、最近では少し増加(主に家庭系)の傾向となっています。ご家庭での生ごみの水切りやプラ容器の分別など引き続き減量へのご協力をお願いします。

★新施設はどのような設備があり、どのような機能を果たすのでしょうか。ごみ発電も行われると聞いていますが。

新環境美化センターと新北部クリーンセンターには、両センターとも一日175トンの焼却施設と5時間あたり19トンの処理能力をもつリサイクル施設をつくります。また、北部クリーンセンターにあるプラスチック容器資源化施設は、2007年竣工でまだ新しいため継続稼働します。

新施設ではソフト・ハード両面で、既存施設に比べて付加価値を高めるため、これまでの「公設公営」を大津市で初めてのPFI的手法*1である「公設民営(DBO方式*2)」を採用します。

ソフト的なものとして、従来はトラブルが起こってから「対処保全」であったのに対し、民間事業者のノウハウにより、予めトラブルを防ぐ「予防保全」が可能となり、休炉期間が短くなるなど、より効率的な運転が可能となります。

ハード的なものとして、ごみ発電を導入することにより、排ガス冷却の水噴霧量が大幅に減少することに加え、これまでプールなど一部しか活用できていなかった熱を、発電するために有効に活用できます。ごみ発電は、全連続燃焼式ストーカ炉*3により効率的なごみ焼却を行い、焼却熱を活用して蒸気タービンを動かし、新築の両施設を合わせて年間約35,000MWh*4の発電量となる見込みであり、民間事業者による効率的な運転

により安定的にごみ発電が可能となります。

また、再資源化施設についても、選別率の向上など、再資源化率の向上を期待しています。

ごみ発電は「燃やす」事が前提ではなく、ごみ減量を第一、次いで適正処理を大前提に、効率的・有効的な手法と考えておりますので、皆様のごみ減量・分別を引き続きお願いいたします。

★経済的なメリットは？

今回の設計・建設工事は2施設で、全体工事費^{※5}が約344億円余、そして20年間の運営経費として約130億円という大型の事業です。これは大津市民の都市生活を支え、環境保全を守るために必要な経費ですが、効果的・経済的・計画的な取り組みが必要です。

設備の「予防保全」により計画的な保守が可能となり、経費の平準化になります。また、2施設を一事業化することによる保守部品共有化も効果的な手法と考えています。

また、発電した電力はまず施設内、及び託送による2施設間の電力融通を行い、余剰な電力は売電することや、事業者主導で効率的な操炉や発電計画が可能となることから、ごみ処理から熱エネルギーの有効活用まで一貫した運営により経済性が期待できます。

更に事業に関する資機材や雇用について、地元調達の促進を図ることから大津市の経済振興に役立つものと考えています。

★大津市のCO2排出削減にはどのような効果が期待できますか。

新しい焼却施設は、技術革新を重ねたストーカ炉なので燃焼効率が高く、同じ量のごみを燃やしてもCO2の排出総量は減少します。また、発電や省エネ機器の採用によって施設内の電力消費を抑制してCO2が削減できることを期待しています。また、ごみ発電や再資源化率向上など、間接的ですが、CO2削減に寄与するものと考えています。

しかし新しい施設ができれば済むという話ではなく、市民の皆様と連携した継続したごみ減量の努力と分別（特にプラスチック容器・包装材の分別）の適正化が資源の有効利用と、地球温暖化防止にとって重要であることを、この機会に多くの市民の皆さんに認識していただくようお願いしたいと思います。

※1：PFI…Private Finance Initiative：プライベート・ファイナンス・イニシアティブとは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力・技術的能力を活用して行う新しい手法で、効率的かつ効果的に公共サービスを提供できる事業について導入します。

※2：DBO…Design Build Operate：公共が起債や交付金等により資金調達し、施設の設計・建設を工事請負契約し、運営等を民間事業者包括的に委託する方式です。

※3：ストーカ炉：火格子の上でごみをゆっくり移動させながら、完全燃焼させる仕組みの焼却炉

※4：発電量35,000MWhは一般家庭4人家族の年間消費電力5,500KWh/年で換算すると約6,300世帯分に相当します。

※5：全体工事費は環境美化センターの焼却施設・リサイクル施設及び解体工事、北部クリーンセンターの焼却施設・リサイクル施設、両施設の外構工事を含みます。

家庭から出る「燃やせるごみ」が増えています。分別に協力を！

大津市では、平成28年度にごみ減量の短期目標（平成24年度比11,000トンの減量）を達成しました。しかし29年度に入って、ごみが増加傾向になり、家庭から出る燃やせるごみの量は年間で前年度比4.1%増えました。

増えた主な原因は、資源になる古紙とプラスチック製容器包装の分別がしっかりとできていないことにあります。これらは分別すれば資源として活用できるものです。

- ・プラ容器の分別は…プラマークを確認の上、汚れや匂いが無いものは、週1回のプラ容器の収集日に出してください。また、買い物時にはマイバッグを持参し、ごみになるレジ袋はできるだけ受け取らないように。
- ・雑がみの分別は…カレンダー、包装紙、贈答品やお菓子の箱、はがき、封筒、トイレットペーパーの芯、ホッチキス止めした書類、名刺、メモ用紙、割り箸の袋なども「燃やせるごみ」ではなく、資源回収へ。

<雑がみの例>



おおつエコフェスタ 2018

平成30年7月29日(日)
10時30分～15時00分
ピアザ淡海 3階大会議室
(大津市におの浜 1-1-20)

わくわく体験ブース

楽しい工作や体験ができる
ブースがたくさん！



ステージイベント

ダンスやバルーンアートが
あるよ！



エコグルメブース

環境にやさしくておいしい
グルメが盛りだくさん！



シールラリー



シールを集め、ビンゴが
完成すればお楽しみプレ
ゼントがもらえるよ！



地球温暖化対策や環境保全の出前講座

～開催ご希望を募集しています～

温暖化の現状や影響、簡単にできる省エネ、身近な生きもの観察など、ご希望のテーマに合わせた内容をパネルや実験等も用いて、分かりやすくお話をします。会場や時間もご要望に応じます。ご利用ください。

対象：10人以上程度のグループや団体、
企業、学校、自治会など

開催にあたっては、会場のご準備をお願いしますが、参加費は不要です。

申込：電話またはFAX、Eメール（「出前講座希望」、連絡担当者の氏名、電話番号またはEメールアドレス、希望のテーマ、対象者を書いて）で4ページ下の大津市地球温暖化防止活動推進センターまで。

事業所での省エネお手伝いします

～省エネでCO2排出量の削減と電気代・ガス代などを減らしませんか～

省エネの専門家が測定器を使って、事業所や工場、マンションなどの電気・ガス等のエネルギーの使用状況を測定し、対象の建物や使用方法に沿った最適な使用削減策を提案する「省エネルギー診断」を受診する事業所等を募集しています。省エネによって経営改善・暮らしの改善のお役に立ちます。

診断期間：7月から平成31年2月末までの間のご希望のとき

対象：企業、商店、事務所、マンション、福祉施設、工場など

診断料：無料

申込：電話またはFAX、Eメール（「事業所の省エネ診断希望」、事業所・団体名、担当者名、住所、電話番号またはEメールアドレスを書いて）で4ページ下の大津市地球温暖化防止活動推進センターまで。